

第17回 なす祭りin豊洲市場



J A高知県安芸地区、生産者、安芸農業振興センター、管内の各市町村でつくるJA高知県安芸地区消費拡大連絡協議会は3月7日、豊洲市場内のキッチンスタジオ「フレッシュ・ラボ」で「なす祭りin豊洲」を開催しました。

試食宣伝では、協議会メンバーが調理した「なすのたたき」約300人分を用意。仲買人らにレシピを添えて配りました。試食した人は「高知のナスは美味しい」「ナスは素揚げと相性がいい」と好評でした。



市場で働く仲買人に、安芸地区の安全・安心でおいしい野菜をPRしました



朝5時から調理スタート！



みなさんレシピも持って帰ってくれました



みんなで300人分の試食を準備



わずか15分程で配り終え、大好評でした



尾木さんと東京事務所の西内所長がよさこい踊りで登場！

出前授業も行い、安芸市でナスを栽培する尾木浩子さんが、天敵昆虫を使った環境保全型農業や協議会の活動などを紹介。参加したバイヤーは「優れた環境で栽培されていることが分かり、高知のナスを積極的に取り扱いたい」と話していました。

同協議会は、エコ野菜のおいしい食べ方や環境保全型農業など、日本一のナス産地の取り組みを知ってもらおうと、料理講習会や出前授業など毎年全国各地で開催しています。今後も高知野菜のファンづくりに力を入れていきます。



市場内も見学。高知のなすも見つけて大興奮



出前授業で環境に優しいナスづくりを紹介

セキセイインコ 30羽の大家族

飼い主：岡村 晴予さん

岡村家の庭には、イエロー、ブルー、ライトグリーン、ホワイトなど、色鮮やかなセキセイインコの鳴き声が響いていました。晴予さんが子供の頃につがいで飼い始め、今では約30羽に！大家族で賑やかに暮らしています。

セキセイインコは1羽で飼うとおしゃべりも得意ですが、ここでは団体飼いなのでピーピーと愛らしく鳴くだけです。猫やヘビが来たら、さあ大変！鳥小屋は大騒ぎです。

芸西支所管内より



むろと廃校水族館がお気に入り

左 尾木 陽菜乃ちゃん(10)

右 優誠くん(7)

中央 心乃美ちゃん(5)

陽菜乃ちゃんと心乃美ちゃんは大好きなジンベイザメのぬいぐるみと、優誠くんはカニポーズで登場！サメやカメ、カニなど3人の好きなものに会える「むろと廃校水族館」がお気に入りの場所です。心乃美ちゃんは、母・久美子さんの母校でもあるこの水族館で、カメの飼育員になるのが夢なんだ♪

優誠くんは休日になると父・優太さんのナスのハウスへ来て、草引きを手伝います。でも、手伝いは一瞬で、ハウスの周りで昆虫採集やカニ探しに夢中。カニのことは何でも知っているカニ博士は、先日カニについて書いた作文が高知新聞にも載りました！さすが博士～！

穴内出張所管内より



安芸
地区

から こんにちは
今月の〇〇 気になる人

吉良川支所管内より



緑が似合うかずら編み

谷口 律子さん(68)

律子さんのお宅には、「つづらかずら」や「籐」で編んだ様々な形・大きさの籠が飾られていました。なんと、すべて手作りです。

約20年前、夫・精作さんの故郷である吉良川町へUターンしてきた律子さん。周りに知り合いもない環境で、趣味を作りたいとかずら編みを始めました。かずらのつるは近所の山へ採りに行き、面白い形の木の根なども見つけては、籠との組み合わせを楽しみます。

「いろんなことを忘れて、無心になれるところが魅力」と律子さん。毎月キットで送られてくる、籐の小物やバッグも15個ぐらい作りました。運が良ければ、道の駅キラメッセ室戸 楽市で購入もできます♪

あき北支所管内より



将来は雇用して規模を拡大したい

丸田 大地さん(25)

大地さんの父・隆三さんは、一人でナス20アールを栽培していました。父を手伝いたいと平成29年1月、6年間勤めた製造業から農業の世界へ。ナス農家に囲まれて育ったこともあり、いつかは継ぎたい思いもありました。

農業担い手育成センターで研修後、親元で就農。実際に農業と向き合う日々は、「誰かの指示を仰ぐ仕事と違い、自由でおもしろい」と大地さん。来作は一人で全ての栽培に挑戦する予定です。

「将来は家族の土地を活用して、雇用しながら規模を拡大したい」。大地さんの誠実な姿勢に、未来の力強い産地の姿が見えます。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 吉良川支所

ひなまつりで芋天・ドーナツ人気



揚げたてのドーナツを販売する女性部員⑤

女性部吉良川支部は2月28日～3月3日、「吉良川の町家雛まつり」に出店。今年で10回目となる同イベントに、毎年出店しています。部員が西山きんとときと加工品を販売。イモの甘さが引き立つ芋天と、ペーセント状のサツマイモを生地に練りこんだ芋ドーナツが人気を集めました。昼時は行列ができ、揚げたそばから売れていきました。来場者は「イモがすくく甘い」「おいしいので毎年買いに来て」と笑顔で食べていました。

3 地区本部

農業担い手サミット in あきし



ハウス内を見学する参加者

2月26日・27日、「第20回高知県農業担い手サミット in あきし」が開かれ、農業認定者や市町村職員、関係機関ら32人が(株)アグリード土佐あきに現地視察に訪れました。参加者は、研修生の受け入れやサポートハウスの運営について意見を交わしました。有光専務は「サポートハウスの運営は、市、県、農家、JAの連携が重要。安芸市は担い手育成のPRに積極的なので、しっかりと就農までサポートしたい」と話しました。

6 地区本部

美しい歌声にうっとり



「歌姫」を熱唱する西尾夕紀さん

年金友の会は3月15日、安芸地区で年金を受け取られている方を招待して、年金友の会総会と歌謡演芸大会を開きました。安芸市民会館と安田町文化センターの2つの会場で、756人が来場しました。総会終了後、歌謡演芸大会がスタート。玉川カルテットの歌謡漫談やニックスの漫才を楽しんだ後、日本レコード大賞最優秀新人賞などを受賞した西尾夕紀さんの歌声とモノマネを堪能しました。会場からは時折、笑い声や拍手が沸き起こり、賑やかに幕を閉じました。

4 地区本部

道の駅「大山」周辺で清掃活動



大山岬の堤防沿いのゴミを拾う青壮年部員

青壮年部は3月12日、道の駅「大山」周辺で清掃活動を行いました。地域貢献活動の一環で毎年行い、5支部から部員14人が参加しました。部員は山側と海側に分かれて、歩道や車道、漁港や公園などに落ちていたゴミを分別しながら回収。道の駅から大山岬周辺にかけて、ごみ袋9つ分を拾いました。宇賀康雄部長は「観光客や地元の人に気持ち良く過ごしてもらえよう、今後も清掃活動が続けていきたい」と話しました。



仕込み中のお酒を確認する参加者

1 地区本部

「吟の夢」新酒づくり 東川酒米研究会が工場見学

特産部東川酒米研究会は3月22日、土佐市の醉鯨酒造の新工場「土佐蔵」を訪れ、同研究会が栽培した酒造好適米「吟の夢」でつくられた新酒の仕上がりを確かめました。生産者や酒造会社、JA、行政など13人が工場見学と試飲をし、意見交換会も開きました。平成30年産は7月の西日本豪雨の影響で、圃場が大きな被害を受けました。収量は29年産の4割程度まで落ち込み、68トンでした。酒造会社からは「豪雨や猛暑の影響で、30年産の「吟の夢」は粒が固かった。「吟の夢」で造ったお酒のファンも多いので、来年期待したい」と意見が出ました。参加者は、精米機や酵母室、仕込場などを巡り、製造現場を確認しました。研究会長の島津和弘さんは、「圃場の復旧が進み、31年産の収量は29年産の8割程度まで回復予定。さらに高品質な酒米をお届けできるよう、今日の意見交換会なども活かしたい」と意気込みました。研究会は県内5つの酒造会社に出荷し、毎年1社ずつ酒蔵を回り交流を続けています。



児童とカレーを囲む青壮年部員

2 吉良川支所

指導ありがとう 青壮年部員にカレー振る舞う

青壮年部吉良川支部は3月12日、吉良川小学校で1、2年生の児童17人と、児童手作りのカレーを囲みながら交流を深めました。同支部では毎年、食育活動の一環で児童に野菜の種まきから収穫までの指導を行っています。指導のお礼として、児童は部員と一緒に収穫したジャガイモを使い、カレーを振る舞いました。部員と一緒に調理したダイコンの漬物も添えました。児童と部員は「みんな育てた野菜は、いつもより美味しいね」と笑顔で頼張っていました。交流会も開かれ、児童は野菜の種まき、草引きや水やり、収穫、漬物作り、漬物の販売についての感想を大きな声で発表しました。児童は「小さな種から大きなダイコンができて驚いた」「水をあげると大きく育つのが楽しかった」と感想を述べていました。宇賀康雄副部長は「野菜の栽培や調理で食の大切さを、さらに販売を通してお金の大切さも学んでほしい」と期待しました。

高温期の栽培管理

ナス

灌水量やハウス内の温湿度管理等に気をつけて、ボケ果・病気の発生が少ない状態で作の終盤を迎えましょう。

灌水量

5〜6月は外気温・日射量の上昇にともない、日中のハウス内温度は高くなり、換気量が多い状態が続く時期となります。また、日射量が増え、葉を残し気味に管理することで蒸散量が増えます。灌水間隔を短くし、回数を増やしたり、1回あたりの灌水時間を長くすることで、灌水量を増やす管理を行います。

パイプ灌水では晴天時に毎日5〜6トン/10アール程度を目安に灌水を行います。ハウスの排水性・葉数・管理温度等の条件で加減しましょう。

日射比例灌水制御では灌水の時間帯を7時〜15時までとし、1回灌水時間を4〜6分。快晴時の日射積算値を2000〜3000kJ/mに設定しておく、この時期の平均日射量で1日に8〜12回程度灌水できます。

温度管理

晴天日は早朝から天窓・サイドの

開度を上げ、午前6〜7時で17〜20℃を目安として換気を行い、温度の急激な上昇を抑えましょう。また、日中温度が25℃以上上がった状態で急激に換気すると、温度が一気に下がり、ボケ果の原因となるので注意しましょう。

ハウス内相対湿度を下げる

日の出後約2時間は急激にハウス内湿度が上昇するので、相対湿度を意識した換気を行います。また、雨天時には日中1〜2時間程度、強制的に加湿機を稼働させるなど、長時間相対湿度が高くなった状態をなくす工夫をしましょう。

病害対策

● 羅病葉・枝・株の持ち出し
発病した葉や茎などは確実にハウス外へ持ち出す。また、側枝に発病した枝も剪除しておきましょう。

予防防除

予防防布があつてその病害防除です。収穫等で忙しい時期には思いますが、栽培こよみ 資料12を活用いただき、半月〜20日程度に1度は薬剤散布を行います。天候等で農薬散布ができない場合は、くん煙剤を活用してみてください。



つやなし果



すずかび病

開花期の管理

カンキツ

春の訪れとともに発芽を始めたカンキツ類は、展葉、開花、新根発生期を迎えます。害虫の潜伏場所にならないよう園地の草刈りを行います。

病害虫防除

開花時期には、ハナムグリ類やケシキスイ類等の訪花害虫と灰色かび病に注意が必要です。開花率が20〜30%の時期に行うと効果が高く、害虫の密度が高い場合は、開花率50〜60%の時に2回目の防除を行います。



コアオハナムグリ



ケシキスイ類

灰色かび病は花弁落下期に雨の多い年や多湿樹園地で発生が多いので、薬剤防除を行います。その後多発が予想される場合は、7〜10日後に2回目の散布を行います。園内の排水の改良、樹冠内部の通風、採光を良くしておきましょう。

黒点病の発生が多い園では、5月中下旬頃から防除を始めます。密植の園地や、寒害・葉害で樹勢が弱い園地は枯れ枝の発生に注意して下さい。

施肥

5月下旬〜6月上旬頃には夏肥を施用しましょう。夏肥は吸収が良く、開花結実や新梢の発生で消耗した樹体に養分を補給し、果実の肥大を促進するため重要となります。施用量は窒素成分で5〜8kg/10アールで、樹勢・結果量・土壌に応じて加減しましょう。時期を遅れて施用すると、徒長した夏秋梢の発生や着色不良等につながる恐れがあります。施肥量が多いと果皮の発生を助長するので注意して下さい。

(注意) 平成31年3月13日より、オリオン水和剤40の使用回数、5回以内から3回以内に變更になります。



安芸営農経済センター 営農指導課 中芸ブロック 久保 巴哉

えいのう〜



役立つ! 得する!

情報

振興センターだより

「カイゼン」の取り組み

谷岡 賀子

「カイゼン」とは?

自動車メーカー「トヨタ」で行われている生産方式(現場改善の手法)です。この生産方式の狙いは「徹底的なムダの排除」による生産性の向上を目指す取り組みです。

なぜ農業で「カイゼン」?

「カイゼン」は、現場の問題点を見えるようにして、ムダを見つけ徹底した効率化とマニュアル化によって効率生産を実現する手法として様々な分野で注目されています。

農業においても、これまで当たり前に行ってきた作業のやり方や考え方を考えることでムダを省くことができます。作業姿勢や作業の動線等の見直しによって、作業効率が上がったり、作業スペースを有効に活用できる可能性があります。このことにより例えば雇用経費の節減や作業負担の軽減につながると考えています。

「カイゼン」に取り組みということ

農家の皆さんは、日常的に様々なことを考えながら農作業を行っていると思いますが、「当たり前」と思っていることについて「もっと良いやり方があるかも」、「このやり方にムダはないのか」と少しの疑問と異なる視点で考えてみてはいかがでしょうか。

例えば、一人で収穫作業に5時間かかっているとします。この収穫作業の動きの中にムダがあると、その時間は「働き」ではなく、生産性が上がっていない「動いている」時間といえます。ただ頑張る作業だけでは30分しか短縮できないけれど、作業動線や動きのムダを意識し改善することで5時間が4時間になるかもしれません。1時間早く収穫作業が終了できれば、他の作業に移ることができたり、自分の時間が持てるようになります。

小さなことからでも「カイゼン」に取り組み、変わることで大きな効果を生み出すこともあるのではないのでしょうか。

「農福連携」

西本年伸

労働力確保が困難に

安芸地域の9市町村の人口は平成30年4月時点で48275人で、毎年1000人程度減少しており、今後、減少傾向は一層深刻になることが予想されます。そのため、ナスやユズなどの収穫や出荷・調整作業の労働力の確保が難しくなっています。JA高知県安芸地区では無料職業紹介事業を行い、求職者の募集を行っています。年々労働力確保が難しくなっています。

農福連携とは?

労働力確保が難しくなっている「農業」と働く場が少ない障がい者等の「福祉」をマッチングさせるのが「農福連携」です。

数年前より安芸福祉保健所の職員の方が、障がい者等の方から就労の相談を受け、知人の農家の方々とマッチングをしてきました。ただ、マッチング件数も増える一方で、個人の対応だけでは限界が生じてきました。

安芸市農福連携研究会

そこで、JA高知県安芸地区、安芸

市、県安芸福祉保健所、障がい者就労・生活支援センター「ポラリス」、農業振興センターで安芸市農福連携研究会が昨年5月に発足しました。以降、毎月定例会を開き、活動立案や情報共有を行っています。これまでの活動内容は、①シンポジウムや講演会・グループ討議、②福祉関係にわかりやすく農作業を説明するビデオの作成、③農作業を体験してもらう機会づくりなどを行い、マッチングが成功しやすくなるようにしています。結果、数名の障がい者等の方が農家やナスの出荷場に就労しています。

今後の農福連携活動

まだまだ、農業サイドは福祉の現状を、福祉サイドは農業の現状を相互理解していません。農家の皆さん、福祉関係の講演会への積極的な参加と理解、障がい者等の方の就農への協力をお願いします。

安芸市では研究会が発足し、様々な活動・実践が行われています。この活動が安芸地域全体に広がっていき、農業、福祉の双方にとってより良い地域社会が形成されることを願います。

安芸農業振興センター 088713410138

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

女性部安芸支部が作る「なすまん」のことを初めて知りました。どこで購入できますか？

(安田支所・80歳)

▼「なすまん」はイベントでしか買えない、肉まんとなってます。安芸市内やJAのイベントに出店しているの、ぜひ食べてみてくださいね。

「あきあいあい」からのファンです。「こうぐり」になってからページ数も増え、東から西までの珍しい記事も多くなり、立派な本になりました。

(あき北支所・78歳)

▼「あきあいあい」では取り上げたことのない農作物や直販所などの情報も増えたので、みなさんの楽しみも増えたら嬉しいです。

間違い探しでもするように、広報誌に知人が写っていないか探しまくっています。2月号では小学校の同級生が載っていて驚きました！

(あき北支所・50歳)

▼間違い探し！やっぱ、知っている人を見つけるとテンションが上がりますよね。

田野町のシンボル「まんちゃん」の掲載ありがとうございます。正昭さんは、いつも笑顔の素敵な男性です。

(田野支所・81歳)

▼公文さんご夫婦のお話はすごく楽しくて、素敵な写真もたくさん見せていただきました。仕事を忘れて、すっかり長居してしまっただけの内緒です。

生産者の方々の農作物に対しての一生懸命さがズンッと伝わってきます。安心で新鮮な野菜を作っていたいただき有難いです。

(室戸支所・72歳)

▼私たちが日々、口にするお野菜を愛情たっぷりで育てる姿勢は素晴らしいですね。

アスパラガスと海老のマヨネーズソテー、早速作ってみました！マヨネーズとかつお節を多めにしたら、さらに美味しかったですよ。

(奈半利支所・62歳)

▼白ごはんにもお酒にもびつたりのメニューですね。私は、他の野菜も入れて、アレンジしてみようと思います。

広報のつぶやき

今月号は、共通ページに安芸地区の情報が盛りだくさんとなっています。安芸一発目の表紙を飾るのは、もちろん自慢のナス！作ってみんなへ食べてみるかえのコーナーは、「なすのたたき」を取り上げました。安芸ではもう馴染みのメニューですが、他地区の人にも食べて欲しくて！何より、私が一番好きなナス料理です。

直販所めぐりのコーナーは、あまり「キラ坊すいか」をピックアップ。今年の夏も食べますように……！むろと廃校水族館や伊尾木洞など、話題のスポットも巡りながら、安芸の農産物やグルメを多くの人に味わっていただきたいです。

(竹村)

INFORMATION

お知らせ



JA高知県女性部安芸地区 女性大学 ときめき学園パート6 受講生募集！

女性部安芸地区は、今年も充実のカリキュラムで女性大学を開催します。新しい仲間づくりの場で、わくわくドキドキの体験をしてみませんか？

期 間 2019年6月～2020年1月まで月1回開催

対 象 者 JA高知県安芸地区管内の女性

募集人員 先着30名

受講料 年間6,000円（女性部員の場合4,000円）
※内容により別途実費をいただきます。

募集締切 2019年5月31日（金）

お問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課
担当：島田・森光 0887-34-1517

	日時	講座内容	実費	場所
第1回	6月8日(土) 13:30～15:30	ハーバリウム教室	500円	あき支所3階
第2回	7月27日(土) 13:00～15:30	味噌作り		川北加工場
第3回	8月17日(土) 13:00～17:00	エコバック作り	1,000円	あき支所3階
第4回	9月21日(土) 13:30～15:00	バランスボール教室	500円	女性の家
第5回	10月26日(土) 7:50～	あいさい広場・阿波人形浄瑠璃など	6,000円	徳島県
第6回	11月30日(土) 13:30～15:30	キャンドル作り	1,000円	あき支所3階
第7回	12月21日(土) 13:30～15:30	フラワーアレンジメント	3,000円	あき支所3階
第8回	1月11日(土) 13:00～16:00	ミニ皿鉢料理作り		女性の家

※日程・場所・内容等は変更になる場合があります。

税務相談日 5月15日(水)・6月19日(水)

会 場 あき支所3階 **時 間** 10:00～16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515